

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: [kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)

レクリエーション・ローイングをOBの方々や、一般の人に紹介して、競技偏在の我が国のローイングが生涯・レクリエーションスポーツとしても広まる営業活動を積極的に始めました。ある情報では日本におけるカヌーの市場は年間50億円でそのほとんどがレクリエーションです。ボートでは7~8億円ではほぼ100%が競技選手対象です。この違いは大き過ぎると思いませんか。桑野造船では今月、大阪と滋賀の展示博覧会に出店して慣れない一般客相手の商品説明に奮闘しています。ローイング・スポーツ界を変化させ、それをサポートできる造船メーカになることが願いです。

## 桑野造船 会社目標

未来に向かって進化

- お客様にとってなくてはならない桑野になるために -

\* ヨーロッパ艇を超える(工夫と行動)

\* 感性を豊かに(新感覚と楽しさ)

\* 徹底したサービス(感謝と早さ)

## 水上ローイングとエルゴローイングの違い

シーズンオフとなり、エルゴを使う機会が増えてきたと思います。今回は水上でのローイングとエルゴでのローイングの違いを考えてみました。この違いを理解したうえで、水上でのパフォーマンス向上の為にトレーニングをすることが大切です。

エルゴは床に、選手はストレッチャーに固定されています。このため、エルゴ漕では自分の体重の総てを1ストロークごとに移動させることとなります。従ってドライブとは別に体重移動に使うエネルギーも必要となり、最大パフォーマンス発揮するためのレートは水上より2~3程度低くせざるを得なくなります。

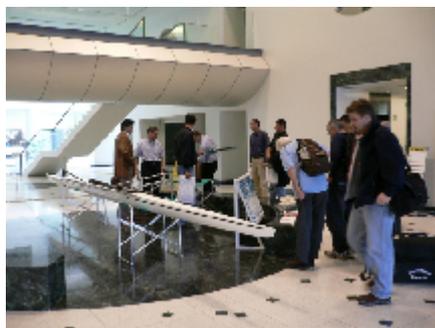
ボートは自由に水に浮いています。水上でのローイングでは大部分はボートの方が移動してくれますので、体重移動のエネルギーは少なく済みす。ただし、このために体重移動が艇の動きに大きな影響を与えます。つまり、フォワードの出し方によってボートの速度変化パターンが変わり、艇が受ける水からの抵抗は大きく変化します。フォワードをよくコントロールする必要があるのはこのためなのです。エルゴではこのことに関係なくゴリゴリ漕ぐだけでスコアは高くなります。

エルゴの抵抗は空気ですから晴天の日は空気の密度が高くて負荷は重く、雨天では逆に軽くなりますので、ダンパーの目盛のみに頼らず、日々ドラッグファクター表示機能を使って校正してください。かたやボートの抵抗は大部分が水から受けますので、水温で決まる水の密度によって大きく抵抗は変化します。たとえば男子軽量級なら120程度が普通の負荷です。

これらの対策として、エルゴではスライドフレームに載せて自由に移動可能にしたり、ボートでは可動式リガーで体重移動量を減らす工夫もあります。でも、エルゴは約30kgありますので実際のローイング(1xでは15kg)とは感覚は異なります。

## コーチカンファレンス報告

2004年11月4日(木)~7日(日)に岐阜県大垣市において、FISAコーチカンファレンスが開催されました。もちろん日本での開催は初めてです。FISA関係者を初めとし、世界各国のコーチ・スタッフが集い各国からのテーマについて発表が行われました。今回はFISAを通しての正式参加の他に、日本ボート協会によるはたらきかけがあって傍聴参加(同時通機貸与、発言権なし、パーティー参加なし)も認められていました。日本国内で活動するコーチ・スタッフも正式・傍聴参加で約25名が発表に聞き入っていました。会場のロビースペースを一部お借りして、桑野造船は艇を展示致しました。これは日本国内の造船を知ってもらうことが目的です。多くの参加国のスタッフに興味をもってもらい、日本の造船レベルを理解してもらえたと思います。



## メンテナンス

艇の使用にあたっては、艇体や消耗品パーツの状態をいつも確認することがメンテナンスにとって重要です。これをおこたると、艇の損傷箇所を増殖してしまいかえって修理代金・パーツ代金が増えることが考えられます。オフ・シーズン今の今、一度ご確認されることをお勧めいたします。例えばシートコロ(車輪)部の例ではコロは磨耗によりかなりすり減り、シート動きを妨げる場合やシートやレールへの損傷拡大に発展する事が考えられます。



## お知らせ

- \* 艇輸送情報 12月1週目に西日本方面、2週目に東北方面へトラックを出します。修理艇引き取り等ございましたらご一報下さい。
- \* 2004年アテネオリンピックDVDはニューウェーブ社のホームページからも購入できます。 <http://www.newwave.de/>
- \* この冬もメンテナンス講習会実施予定です。2005年1月下旬又は2月頃に講習会を実施する予定です。各団体で行える簡単な修理方法等を指導させていただきます。技術伝承の理由から、原則は学生さんのご参加はご遠慮いただいておりますのでご了承下さい。参加人数に制限があります。あらためて案内をいたします(旅費・宿泊費は参加者にてご負担をお願い致します)

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail ([kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp))で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。